

平成30年産水稻の収穫量（奈良県）

－ 水稻の収穫量（主食用）は4万3,800 t －

1 作付面積

平成30年産水稻の作付面積（子実用）は8,580haで、うち主食用作付面積は8,530haとなった。

2 作柄概況

(1) 平成30年産水稻の作柄は、穂数及び1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから、全もみ数は「平年並み」となった。

9月に入り、台風及び秋雨前線の影響で日照時間が平年を下回ったものの、気温は平年並みに経過し、10月以降おおむね天候に恵まれたことから登熟は「平年並み」となった。

これらのことから、10a当たり収量は514kg（前年産に比べ7kg減少）となった。

また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は100となった。

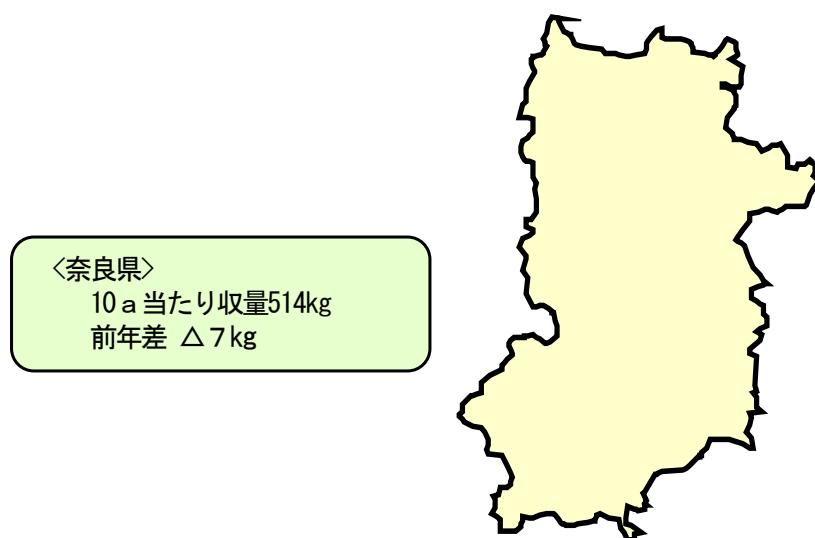
(2) 被害は、山間部を中心にイノシシによる獣害等が発生した。

3 収穫量

収穫量（子実用）は4万4,100 t（前年産に比べ800 t減少）となった。

うち、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は4万3,800 tとなった。

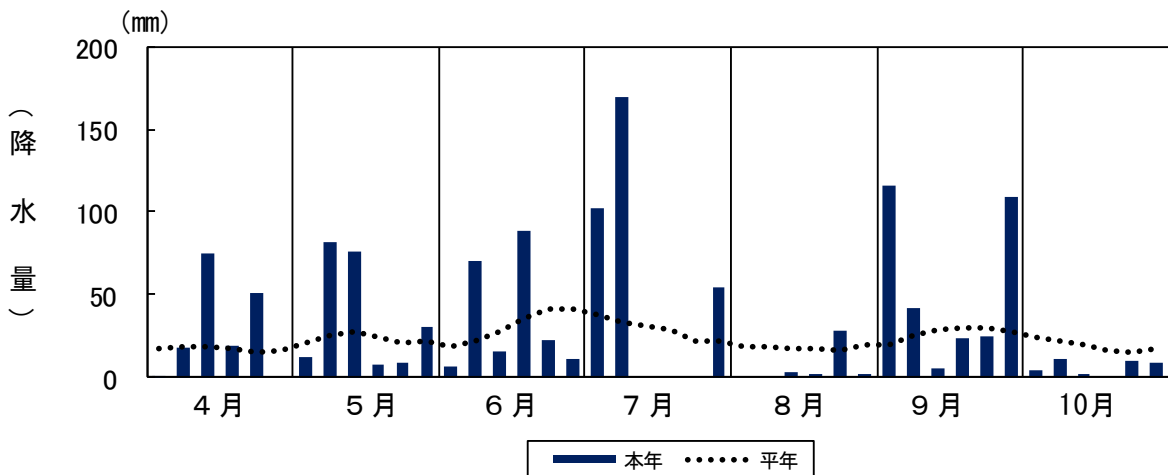
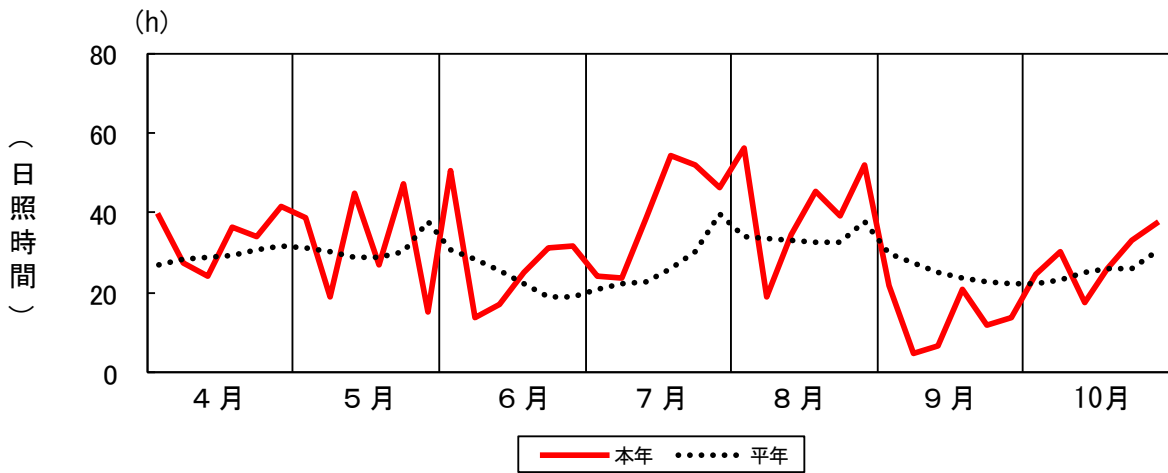
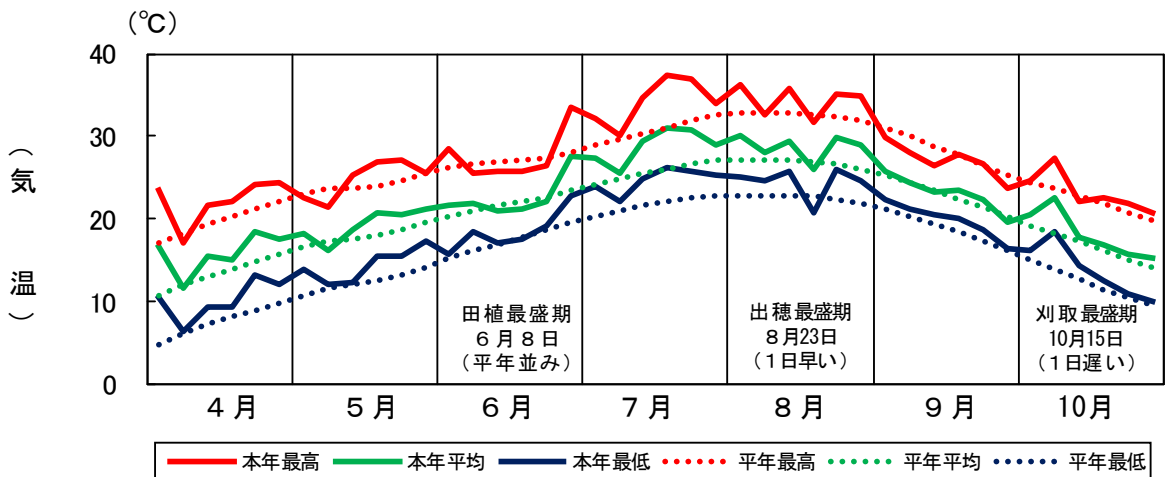
図 奈良県の10a当たり収量



○ この資料は、「平成30年産水稻の収穫量（近畿）」（平成30年12月10日公表）の補足資料として作成したものである。

【参考】

奈良県（奈良市）の気象



資料：気象庁『アメダスデータ』

注：田植期、出穂期及び刈取期の最盛期は、県平均の期日である。

なお、()は、対平年差である。

【お問合せ先】

近畿農政局 奈良県拠点 統計チーム

電話：(代表) 0742-32-1870 内線438

(直通) 0742-36-2988

F A X : 0742-36-2985